

製品名: UBE3A (15N18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19533**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	101kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE3A
別名	Ubiquitin-protein ligase E3A; UBE3A; E6AP; EPVE6AP; HPVE6A;
遺伝子 ID	7337.0
SwissProt ID	Q05086
免疫原	ヒト UBE3A の合成ペプチド

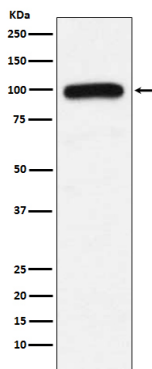
背景

E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、基質へと転移します。基質としては、RAD23A、RAD23B、MCM7 (DNA複製に関与)、アネキシン A1、PML 腫瘍抑制因子、細胞周期調節因子 CDKN1B などが同定されています。E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼは、チオエステルの形で E2 ユビキチン結合酵素からユビキチンを受け取り、それを基質に転移します (PubMed:10373495、PubMed:16772533、PubMed:19204938、PubMed:19233847、PubMed:19325566、PubMed:19591933、PubMed:22645313、PubMed:24273172、PubMed:24728990)。基質として、ARNTL/BMAL1、ARC、RAD23A および RAD23B、MCM7 (DNA複製に関与)、アネキシン A1、PML 腫瘍抑制因子、細胞周期調節因子 CDKN1B などが同定されています (PubMed:10373495、PubMed:19204938、PubMed:19325566、PubMed:19591933、PubMed:22645313、PubMed:24728990)。さらに、細胞質内のミスフォールドタンパク質の分解を促進することで、細胞品質管理ユビキチンリガーゼとして機能する可能性も示唆されています (PubMed:19233847)。最後に、UBE3A は生体内で自身の分解も促進します。概日時計の調節において重要な役割を果たし、コア時計構成要素 ARNTL/BMAL1 のユビキチン化に関与し、プロテアソームによる分解を誘導する (PubMed:24728990)。プロゲステロンホルモン活性化時にプロゲステロン受容体 PGR の転写共活性化因子として作用する (PubMed:16772533)。ARC のユビキチン化と分解を媒介することにより、シナプス発達の調節因子として作用する (類似性による)。WBP2 との相乗作用により PGR 活性が増強される (PubMed:16772533)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



K562 細胞溶解物中の UBE3A 発現のウェスタン プロット解析。